

「第 18 回有峰俳句の会」開催速報

令和 2 年 9 月 12 日（土）と 13 日（日）二日間の日程で、講師に富山県俳句連盟会長の中坪達哉先生を招聘し、「第 18 回有峰俳句の会」を開催しました。

参加者は、コロナ禍の影響もあり中坪先生含め 7 名でした。紅葉には早い初秋のこの時期、第一日目は、10 時過ぎより、ビジターセンターではじまりの会を開催、次長吉江より挨拶後、主任指導員大井より二日間の日程等を説明し、有峰俳句の会を開始しました。

一日目の最初の目的地は、猪根平永遠の木周辺の散策です。ミズナラとブナが交差する**永遠の木**周辺で一句詠みました。その後バーベキュー広場に移動し、昼食を取りました。一日目の 2 番目の目的地である西谷川散策を行いました。この西谷川の上流には中坪先生お気に入りの**命の沢**があるところです。

今回は**命の沢**まで足を延ばせませんでしたでしたが、途上の西谷川と散策路とが合流する地点で一句詠みました。「**命の沢**の手前にも、こんないい景色があるんだ。感激だね！」と中坪先生よりアドバイス。この日、西谷川には、有峰湖より遡上してきたと思われる尺越えの岩魚が群泳しており、森永指導員が釣り上げると、中坪先生から歓声上がるハッピーングもありました。その後、3 番目の目的地、桐山歩道に向かいました。この桐山歩道は、有峰の森のミニシア版で、**あがりこ**などの奇木、ミズナラ、ブナやクロベなどの大木も分布する変化に富んだ、徒歩で 20 分程度の散策路です。森林浴を堪能しながら一句詠みました。中坪先生、途中クロベの大木からエネルギーをもらっていました。また、どの参加者も、俳人として、俳句の題材になる有峰の動植物に興味津々でした。「桐山歩道いいね！」と中坪先生にも好評でした。桐山歩道散策後、ビジターセンターに戻り、この日詠んだ俳句 5 句を短冊に記入・提出戴きました。その後、有峰ハウスにチェックイン戴きました。夕食後、ビジターセンターに集合戴き、「夜の句会」を開催、各自ブラインドで 5 句を選定し、選定理由付きで選定句について発表戴きました。最後に、講師中坪先生に各句の好評、添削、総評を戴き、21 時に一日目の句会を終了しました。

二日目は、一日目と異なり、雨天からのスタートとなりました。中坪先生は、「雨も一興」と天候の変化を好まれ、この日もアグレッシブでした。雨天のため、当初予定していた真川散策から、冷タ谷散策路に変更

しました。

生憎の雷雨で、冷タ谷から薬師岳を眺望できませんでしたが、渇水期の冷タ谷から望む有峰湖の風景は、摩訶不思議な様相を演出しており、俳句日和となりました。冷タ谷キャンプ場で一句詠みました。その後、ビジターセンターに戻り、各自 5 句短冊に記入戴きました。昼食後、ビジターセンターにて二日目の句会を開催しました。

一日目と同様の流れで、各自ブラインドで 5 句を選定、選定理由付きで選定句について発表戴きました。

この時、中坪先生他有志には、マーキングしたアサギマダラの放蝶も体験戴きました。

その後、中坪先生より各句の好評、添削をご指導・ご教示戴き、14 時 30 分に二日目の句会を終了しました。句会に参加し、参加者の俳人としてのレベルの高さに驚嘆しました。そして、季語を加味しながらその感動を 575 の 17 文字でまとめる俳句の難しさを実感しました。やはり昨年同様、中坪先生が詠まれた俳句が大変好評でした。参加者の皆さんの俳句の題材探しに対する前向きな姿勢、真摯な態度・学習欲が大変印象的でした。

最後に、中坪先生より、「正岡子規の俳句、柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」で、奈良が有名になった事例を紹介しながら、「有峰の水と緑の森、樹還流を 575 の 17 文字の俳句として全国に、英訳して全世界に発信してほしい。これが有峰森林文化村の使命です。そうすれば、有峰が、富山県が有名になりますよ。」とアドバイス戴きました。有峰森林文化村職員一同“心が洗われる心境”となりました。

好評だった俳句の一部を紹介致します。

- 名人の岩魚を返す水の音
- 折れ枝を踏みゆく音も秋のもの
- ばった飛ぶ出発前の山のバス
- 秋の日や句帳開けば蜂も来て
- アキアカネ猪根の山の空高く



ビジターセンターにて次長吉江より挨拶 (9/12 撮影)



西谷川に向かう参加者 (9/12 撮影)



永遠の木を仰ぎ一句 (9/12 撮影)



西谷川で一句思案中の参加者 (9/12 撮影)



ブナの根元に腰掛ける中坪先生 (9/12 撮影)



樹木を眺め一句 (西谷川にて 9/12 撮影)



クロベの幹に触れる中坪先生（桐山遊歩道にて撮影）



俳句の題材、季語を模索中の参加者（9/12撮影）



中坪先生中心に桐山歩道を散策中の参加者



「夜の句会」会場にて講評中の中坪先生



桐谷歩道に生育するあがりこ（ミズナラの奇木）



傘を差して一句（冷夕谷にて9/13撮影）



冷タ谷キャンプ場にて一句（9/13 撮影）



二日目の句会の風景（ビジターセンターにて 9/13 撮影）



終りの会で挨拶する次長吉江